

『ひめゆり』を大阪で上映する会の活動に際して

1995年1月、僕は阪神淡路大震災に遭遇し、そこでさまざまなボランティア活動にかかりました。

これはまさに僕たちが今、直接かかわっていることであり、これに目をつぶってはいけない。そしてこれから先もずっと、これにかかわっていかなければならない、ということを感じました。

そういう中、2008年秋、柴田昌平さんが監督をされた「ひめゆり」という映画に出会いました。

観終わって、感じたのは、まず長かったということ。

出演者であるひめゆりの生存者たちの証言を淡々と力

メラが追い、それを2時間も続けている、その息の長さ。

これでもか、これでもか、と畳みかけてくる、その思いの深さ。

そして、戦争って、いったい何だったんだろう、と考えさせられる瞬間。

何も足さず、何も引かず、事実を事実としてとらえ、その事実の伝承を絶やすことなく生涯の仕事にされた生存者―おばあちゃんたちの姿。

誰が正しいとか、誰が悪いとか、そういうことではなくて、単純に、平和であることがこんなにすばらしいことなんだということを、多くの皆さん、特に若い皆さんとともに感じたい。

ただそれだけの思いで、ここ大阪で、「ひめゆり」を自主上映しよう、と思い立ったのです。

『ひめゆり』を大阪で上映する会実行委員長

杉浦 健 (2009年初夏)

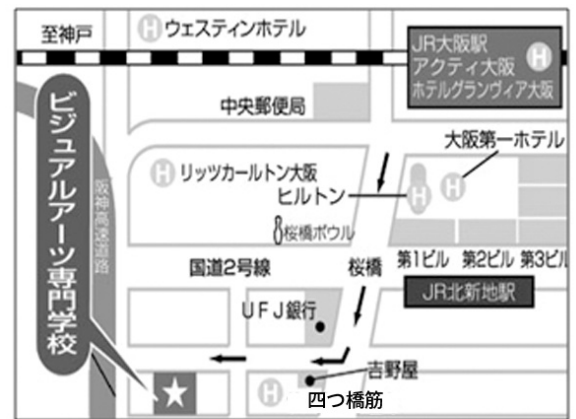
●会 場

アーツホール (ビジュアルアーツ専門学校新館3階)

最西端の校舎(ベンチのある広場奥)が新館です。

JR 大阪駅桜橋口から旧中央郵便局方面へ進み、南へ直進。四つ橋筋桜橋交差点を通過、吉野家のある角を右折し(国道2号線から一筋南の通り)、200m直進した南側。徒歩約10分。

JR 大阪駅、阪急・阪神・地下鉄梅田駅から徒歩約10分、JR 北新地駅、地下鉄西梅田駅から徒歩約3分、京阪渡辺橋駅(新駅)から四つ橋筋を北へ進み、吉野家角を左折。徒歩約7分。



(渡辺橋を渡る)
至 京阪渡辺橋駅

●料 金 (スペシャルトークイベント参加費を含む)

(当日券一般) 1,500円 (前売券一般) 1,400円

(当日券学生) 1,000円 (前売券学生) 900円

(一般ペア割引券・2人分 または 学生グループ割引券・3人分) 2,500円 前売・一般共通

チケットは各実行委員(下記お問い合わせ先)および、「風の本屋」(大阪市旭区森小路)にて取り扱っています。

[風の本屋ホームページ] <http://www5e.biglobe.ne.jp/~kazehon/>

●前売予約・お問い合わせ

メール himeyuri.osaka.tsudoi@gmail.com

電話 090-8651-5742 (事務局・村岡)

※ご予約の際は必ず氏名(ふりがな)、連絡先の電話番号をお知らせください。

●主 催 『ひめゆり』を大阪で上映する会 (当会は有志が運営する非営利の市民活動団体です)

<実行委員>秋田和孝(公立中学校PTA会長)、池田文子(風の本屋)、梅田純平(大阪ボランティア協会職員)、大谷 隆(ウォロ編集委員)、川井田祥子(ウォロ編集委員)、楠瀬かおり(NUI企画)、久保友美(大学院生・ウォロ編集委員)、栗原奈名子(映画監督)、黒田久雄(NPO ヒューマン・ビジョンの会)、近藤鞠子(ウォロ編集委員)、柴田 誠(映画監督)、杉浦 健(ウォロ編集委員)、大門秀幸(ウォロ編集委員)、華房ひろ子(ウォロ編集委員)、富士 海(プロダクション・エイシア)、藤本勝代(コスモスカンパニー)、村岡正司(ウォロ編集委員)、金城 馨(関西沖縄文庫)

後 援 ■ 社会福祉法人大阪ボランティア協会 協 賛 ■ ビジュアルアーツ専門学校 協 力 ■ 関西沖縄文庫

★市民活動総合情報誌『ウォロ(Volo)』6月号にて、柴田昌平監督の4ページインタビューが掲載されました。特集ページは「見る」戦争体験～その市民的活用法」。ぜひご一読ください。 <http://www.osakavol.org/volo/>
□□□ お申込みはウォロ(Volo)編集部 影浦まで。定価：1冊500円、年間購読10冊：5,000円(送料込) □□□
編集・発行元 大阪ボランティア協会(1965年創刊・一般誌にない情報、論説、視点満載！)
〒553-0006 大阪市福島区吉野4-29-20 大阪NPOプラザ100号 電話：06-6465-8395、FAX：06-6465-8393

■□■ 当上映会の売上余剰金は、関西地区の学校や若者グループの上映助成金として活用します。 ■□■